

2025/11/30
水彩サロン・陣内秀信先生講演

「今、再び水辺空間のあり方を考える」
—東京、深川、ヴェネツィア、他の都市を自由に巡って—

世界の水辺の新しい取り組みについて、ヴェネツィアをはじめ、ミラノ、アムステルダム、オスロ、ニューヨークなど、豊富なスライドを示しながらの講演。

海外の多くの都市では、使われなくなった港湾施設や倉庫跡を再生し、カフェや広場、遊歩道などを整えた魅力的ウォーターフロントづくりが進んでいて、今や、市民が楽しめる場所としての水辺空間は、世界中に広がっている。

一方、日本では、文学や浮世絵にも水辺の風景が多く描かれるなど、水と共に暮らす豊かな文化があったにも関わらず、近年の都市化の過程において、人々と水辺との関わりは薄れ、その価値が十分に生かされないまま、水辺の空間が次々と姿を消して来たのが現状である。

世界の水辺の再生の事例は、水辺が人々を集め、新しい交流をうむ大切な資源であることを示している。水辺の価値を再認識し、身の回りの水辺を、現代にふさわしい形で活用することができれば、地域の魅力向上や活性化にも役立つものになる。

今こそ、私たちは、かつて私たちの身近な存在だった水辺を再生し、人と水が身近に感じられる空間を取り戻す事が求められている。

(O.Y.)